

1. 科目名 (単位数)	政治学 (国際政治を含む) (2 単位)	3. 科目番号	GELA1318
2. 授業担当教員	鈴木 収		
4. 授業形態	講義、グループ討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	景気対策、規制緩和、地域主権、社会保障、雇用問題など「政治」の場で議論される諸問題はマスメディア報道などを通して日々われわれの耳に入ってくる。わたしたちは、住みやすい社会をつくり、市民の生活水準の向上を図るための機能を「政治」と呼んでいる。本科目では政治学の基礎的な概念を理解し、歴史的事象、時事問題を事例として政治の仕組みについて考えていく。		
8. 学習目標	1) 政治学の基本概念について理解し、説明できる。 2) 現代社会を政治学の観点から見たり考えたりすることができる。 3) 具体的な公共政策を事例として当否の検討などをとおして政治参加に必要な意思決定ができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【中間レポート課題】 教科書pp. 11～15, 17～20を参照して、「集合行為問題」と「その解決策」をマンションを例にして説明しなさい。また教科書17～20を参照して、「繰り返し囚人のジレンマゲーム」と「その解決策」をマンションを例にして説明しなさい。(A4用紙)</p> <p>【期末レポート課題】 教科書pp. 166～167, 171～174を参照して、地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる意味と3つの地方分権の内容と地方分権のメリットとデメリットを1つずつ説明しなさい。あなたの居住地の地方自治で思うことを書きなさい。(A4用紙)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 砂原庸介、稗田健志、多胡淳共著『政治学の第一歩』[新版] 有斐閣ストゥディア、2020 新版。 授業内でプリント配付する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1)政治学の基本概念について理解し、説明できる。 2)現代社会を政治学の観点から見たり考えたりすることができる。 3)具体的な公共政策を事例として当否の検討などをとおして政治参加に必要な意思決定ができる。</p> <p>○評定の方法 成績評価の規準1)～3)についての達成度を以下の方法により評価する。 ・各受講生の参加意欲・態度 (課題の提出状況も含む) について総合的に評価する。(30%) ・各受講生の授業での発言・共同作業 (ディスカッションなど) の実態等から総合的に評価する。(30%) ・各受講生の知識理解や思考の深まりについて、試験・レポートから評価する。(40%) なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	少し難しく思える政治学を、個人主義に立脚し、「何をなすべきか」ではなく、「どのように他者と合意を作り出すか」を焦点に、自分はどうかえどう行動するとよいのかを理解してほしい。毎回、自分の意見を適切に述べ合う授業方法で進めていく。		
13. オフィスアワー	講義の中で通知するが、研究室在席中はいつでも受け付ける。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (講義概要の説明) 第1章 政治のとらえ方 「1 政治とその分析感覚」 「2 秩序ができるには」 (教科書 pp. 1～10)	事前学習	自分が日本の政治に期待することをノートにまとめる。
		事後学習	教科書にある政治の一つ目の役割をノートにまとめる。
第2回	第1章 政治のとらえ方 「3 集合行為問題とその解決」 「4 『将来の影』と当事者間の協調行動」 (教科書 pp.10～21)	事前学習	集合行為問題の意味を教科書で調べる。
		事後学習	「将来の影」の意味をノートまとめる。
第3回	第2章 国家という枠組み 「1 国家をめぐる概念」「2 国家の役割」 「3 国家と市民の対抗関係」 (教科書 pp.23～39)	事前学習	教科書でヴェーバーの近代主権国家の意味を調べる。
		事後学習	国家と市民の対抗関係について、ノートにまとめる。
第4回	第3章 政治体制 「1 政治体制の分類」「2 民主化と近代化」 「3 古典的近代化論への対抗」 (教科書 pp.41～60)	事前学習	教科書で、日本の現在の政治体制を確認する。
		事後学習	古典的近代化論について、ノートにまとめる。
第5回	第4章 選挙と投票 「1 政策の対立軸」 「2 選挙制度—選挙という難問、選挙制度のトレードオフ、選挙制度の分類」 (教科書 pp.61～72)	事前学習	国会議員の選挙であなたはどんなことを基準に投票したか、または投票しなかった理由を考える。
		事後学習	選挙の二つの機能について、ノートにまとめる。

第6回	第4章 選挙と投票 「2 選挙制度—多数代表制、比例代表制、日本の選挙制度」 「3 投票行動」 (教科書 pp.72~84)	事前学習	教科書で日本の選挙制度を調べる。
		事後学習	政治参加を規定する三つの要因について、ノートにまとめる。
第7回	第5章 政党と政党システム 「1 政党の役割」「2 政党組織」 「3 政党システム」 (教科書 pp.85~104)	事前学習	インターネット等で、現在の日本の政党を調べる。
		事後学習	政党システムとその三つのフェーズについてノートにまとめる。
第8回	第6章 政権とアカウンタビリティ 「1 執政とアカウンタビリティ」 「2 政権の形成」 「3 政権の意思決定」 (教科書 pp.105~124)	事前学習	教科書で、執政とアカウンタビリティの意味を調べる。
		事後学習	政権の三つのタイプについて、ノートにまとめる。
第9回	第7章 執政・立法・司法 「1 大統領制」 「2 立法過程における権力の分割」 「3 司法機関の独立」 (教科書 pp.125~142)	事前学習	教科書で大統領制の二つの特徴を調べる。
		事後学習	司法機関の独立のため内閣の自己抑制を制度化した三つの内容について、ノートにまとめる。
第10回	第8章 政策過程と官僚制・利益集団 「1 政策過程と民主主義」 「2 政策過程における官僚制」 「3 政策過程における競争と協調」 (教科書 pp.143~158)	事前学習	教科書で、「政策糧の検討」の大切さを調べる。
		事後学習	官僚が利益団体に協力しやすい理由について、ノートにまとめる。
第11回	第9章 連邦制と地方制度 「1 国家と連邦制」 「2 地方自治機能」 「3 地方分権とその帰結」 (教科書 pp.159~176)	事前学習	教科書で連邦国家の仕組みを調べる。
		事後学習	地方分権のメリットとデメリットについて、ノートにまとめる。
第12回	第10章 安全保障と平和 「1 戦争と平和をめぐるミクロな説明」 (教科書 pp.177~188)	事前学習	日本の安全保障で一番心配なことは何ですか。
		事後学習	外交交渉が失敗する3つのパターンについてノートにまとめる。
第13回	第10章 安全保障と平和 「2 安全保障の選択肢」 「3 戦争と平和をめぐるマクロな説明」 (教科書 pp.188~195)	事前学習	日本が自国の平和を第二次世界大戦後アメリカとの同盟に依存して来たことを知る。
		事後学習	日本の平和維持のためにどうしていくとよいと思うかをノートにまとめる。
第14回	第11章 国際政治経済 「1 自由貿易をめぐる政治」 「2 モノ・ヒト・カネの移動の類似性と相違点」 「3 国際制度」 (教科書 pp.197~216)	事前学習	自由貿易の意味を知る。
		事後学習	貿易の国際制度の2つの役割について、ノートにまとめる。
第15回	第12章 国際社会と集団・個人 「1 主権国家の相対化」 「2 国際関係の社会性」 「3 個人(私たち)と交際社会」 (教科書 pp.217~232)	事前学習	国民国家の意味を知る。
		事後学習	国際社会で今一番問題だとあなたが考えることをノートにまとめる。